

## 北海道鉄道本部が春闘学習討論集会 「4つの基調」にもとづき元気よく

北海道鉄道本部は2月10日に「2018年春闘学習討論集会」を開き、各支部から25人が参加しました。集会では、はじめに竹田委員長が「安倍政権の国民いじめの政治をやめさせるために地域から国民春闘に参加して元気にたたかおう」とあいさつしました。このあと、札幌地区労連の木村俊二事務局長と北海道憲法会議事務局長の齋藤耕弁護士の講演があり、木村事務局長は「18春闘を安倍『悪政』を跳ね返す国民春闘に」と題した講演の中で、安倍改憲NO!の3000万人署名、安倍「働き方改革」阻止、大幅賃上げのたたかいなどを前進させるとともに、春闘で仲間を増やそうと訴えました。齋藤弁護士は「安倍9条改憲（加憲）の目指すもの」として、第2次安倍政権後の動きとその狙い、憲法9条と自衛隊、安倍改憲（加憲）の目的について明らかにしながら、北朝鮮問題や中国脅威論にもふれて「安倍9条改憲」を許さないために国民と力を合わせて運動をすすめることが大切だと強調しました。また、憲法共同センターが作成したDVD「9条改憲って何？」を見て学習しました。

引き続き竹田委員長が鉄道本部の春闘方針を提起し、「4つの基調」（①すべての働く人びとの賃上げ・底上げでくらしの改善と内需拡大・地域経済再生、労働法制改悪に対する反撃強化／②JR・関連労働者の賃上げ・待遇改善と鉄道路線の廃止に歯止めをかける運動／③要求闘争と一体での組織拡大・強化／④安倍9条改憲を許さず国民主権を回復する）にもとづくとりくみを、地域での諸行動や統一行動に結集してたたかうことを訴えました。討論では、「海外でアメリカといっしょに戦争する自衛隊にしないための署名です」と3000万人署名をひろげているとりくみの経験などが出され、たたかいの意思統一がはかられました。

## 釧路支部「建退共・職業病相談会」始まる 白糠会場に5人の相談者

釧路支部は今年の「建退共・職業病相談会」の第1弾として、2月10日に白糠でおこないました。会場は昨年までと同じ「白糠整形外科医院」を使わせてもらい、白糠町の広報を見て参加した人や病院に貼ってあるチラシを見た人など5人の相談者が来ました。このうち現役の袖夫2人は振動障害の相談で、年金が少ないため働き続けているとのことでしたが、検査を受ける段取りをすることになりました。

釧路支部はこのあと、2月25日と3月4日に釧路市内で各2会場、3月11日に中標津で相談会をおこなうとともに、3月17～18日の美幌での相談会も援助することとしています。

## 各地の「相談会」の日程決まる

これからの各地の「相談会」の予定は、札幌労災支部＝2月25日（札幌）、旭川支部＝3月4日（旭川・2会場）／3月25日（富良野）／4月1日（名寄）／4月8日（留萌）、後志労災支部＝3月17日（余市・小樽）、十勝建設支部＝3月11日か18日（帯広）のほか、道本部労災職業病部会が援助して苫小牧（3月10日・2会場）、千歳（3月11日）、夕張・長沼（3月21日）でも相談会を開きます。